

「巻頭特集」子どもたちの笑顔が見たい」を合言葉に 絆を深める親子のフェスティバル

地域住民にふれあいの機会を提供している親子のフェスティバル。今年、敦賀港の開港120周年を記念し、例年以上に充実した企画が予定されています。5月19日の開催を前に、これまでの歩みや37回目の開催にかける意気込み取材しました。

フェスティバルを通して 青少年の健全な育成をめざす

敦賀市桜町のきらめきみなと館とその周辺で、毎年5月に開催されている親子のフェスティバル。地域住民との触れ合いを通して、青少年の健全育成を図るための催しです。

敦賀市は、昭和52年に青少年健全育成都市宣言を公示。その2年後には、青少年の健全育成や非行防止の啓発活動に取り組む青少年健全育成敦賀市民会議を設立しました。そして、同市民会議が主催を務め、昭和58年に親子のフェスティバルを初開催したのです。

当時の会場は、松島町にある松原公園と松原海岸。約1万3000人が来場したと記録されています。「当時、私は小学生で、会場にはたくさんの方々が上っていたのを覚えています。最初は、岐阜県関市で行われていた子ども祭りを参考にしていたようです」と話すのは、敦賀市教育委員会少年愛護センターの所長で、昨年度からフェスティバルの事務局を務めている加藤陽子さん。イベント内容は年を追うごとに充

実。天候に恵まれた年は、のべ2万人を超える来場者が訪れるなど、「子どもたちの笑顔が見たい」を合言葉に、県内でも最大級のイベントに成長しています。

毎年の開催を支える 地域団体のボランティア

開催に向けた準備が始まるのは毎年2月頃。市民会議の育成部が中心となり、青少年部や広報部を交えた約10人による運営委員会を組織します。その後は、何度も会議を繰り返しながら、当日の実働部隊となる実行委員会を設立。市民会議の会員団体や協力団体など、県内外のおよそ55団体が名を連ねます。

「フェスティバル当日に、ブース出展する団体のほとんどが、実行委員会に参加してくれているんです」と話すのは、会員団体であるNPO法人T.H.A.P.の理事長で、運営委員会の委員長を務める池田裕太郎さん。地域団体の積極的な参加に対し、感謝の意を示します。

「とくに、ここ10年ほどは、当日に配っていた弁当を廃止して、その分のお金をイベントの予算として使わ

昭和58年に開催された第1回親子のフェスティバル。子ども神輿や、たこあげ大会が行われました



親子のフェスティバル運営委員会運営委員長 池田裕太郎さん



親子のフェスティバル運営委員会事務局長 加藤陽子さん



開港120周年に合わせて 体験イベントが目白押し!

今年の開催は5月19日。敦賀港の開港120周年を記念し、例年以上に船をテーマにしたイベントが充実する予定です。「敦賀湾を半周する国土交通省港湾業務艇「まつかぜ」の乗船体験は、今年に限りできるだけ多くの方に体験していただくよう検討しています」

と池田さん。ほか、海上保安部巡視船の「えちぜん」や、普段は舞鶴港に配備されている大阪税関の監視艇「あおば」の一般公開も実施。子ども向けの体験イベントも企画中です。

桜原壁広場には、働く車たちが大集結。敦賀美方消防組合のはしご車や、敦賀警察署のパトカーを始め、特殊車両が展示される予定です。きらめきみなと館イベントホールには、開会式やビンゴ大会を行うス

テージエリアと、各団体による体験ブースエリアを用意。体験ブースでは、親子で竹馬づくり、足の指でビー玉つかみ、オリジナルのうちわづくり、スイーツデコワークショップ、鉄道模型のジオラマ展示など、毎年恒例の人気企画が目白押しです。また、幅広い年代の人たちが楽しく過ごせるようなブースも数多く設置されています。もちろん、飲食コーナーも充実。地元飲食業組合や種類業組合が腕

によりをかけて、フェスティバルを盛り上げます。今年、開港120周年を記念して、海上自衛隊舞鶴音楽隊の記念演奏も行われます。

「これだけの大きなイベントを開催できるのも、裏方の皆さんの協力があったからこそ。今年のフェスティバルも大いに盛り上げていきたいと思えます」と加藤さん。池田さんも「親子で楽しい時間を過ごしていただき、家に帰ってからみんなが笑顔でいられる。そんな素敵な一日を満喫してもらいたい」と声をそろえます。

親子のふれあいから笑顔の輪を広げるため 地域が一丸となって次の世代を育てる



1



2



3



4

1. ステージエリアでは、さまざまな団体によるパフォーマンスが予定されています
2. 多数のブースが並びきらめきみなと館イベントホール。毎年大勢の人でにぎわいます
3. 敦賀スカウト連絡協議会によるスカウト広場。たくさんのおもちゃがそろう
4. 敦賀湾を半周する国土交通省港湾業務艇「まつかぜ」の乗船体験は、今年に限りできるだけ多くの方に体験していただくよう検討しています

第37回
親子のフェスティバル
5/19日
9:00~15:00

■場所 / きらめきみなと館とその周辺
■問い合わせ / 0770-23-0189
(敦賀市少年愛護センター内
親子のフェスティバル実行委員会
事務局)

海上保安部の「えちぜん」や大阪税関の「あおば」もやってくるよ!



地域との繋がり場の場として、市民に定着している親子のフェスティバル。毎年の開催を継続することで、親子や地域との絆を育んでいます。

子どもたちに大人気の鉄道ジオラマ



ステージエリアの人気企画、敦賀市在住の父親が結成する団体「敦ハバ」の爆笑絵本ライブ。今年の参加も決定しています